

感性あふれる提案続々

地域活性化へ学生プレゼン大会

飯塚

大学生と地域のつながりを深めるアイデアを競う「つながりプロジェクト プレゼンテーション大会」が14日、飯塚市の嘉穂劇場であった。飯塚ロータリークラブ50周年記念事業の一環。市内にある九州工大、近畿大、近畿大

アイデアを発表する学生たち



大学生が飯塚のまち・ひと・企業とつながるには、「大学生」や「企業」のようなたんぱく質を多く含む食品の継続が不可欠。そこで今回、私たちが提案するのが誰よりも継続的に「ナイトナイトトーク」を実施

九州短大の3校の学生と地域との結びつきを強め、若い人たちのアイデアで地域を元気にしようとして初めて企画した。

1次審査を通過した3校の6チームが参加。「大学生が飯塚のまち・ひと・企業とつながり、将来根付いて行くには？」をテーマに考えを披露した。大学生と地元の人が気軽に話し合うことができる場の創設▽イベント宣伝とイベント時のアルバイトに特化した情報ツールの作成と運営▽など、若い感性があふれた提案が続いた。

九州工大大学院生の阿南将さん(22)は「私は山笠にも参加し、飯塚は楽しい街と実感しているが、中には街を知らないまま卒業する学生もいるので、大会はよかった」と話した。審査の結果、市内企業への短期インターンシップを提案した近畿大の「飯塚ひとまち研究会」が1位となった。

【武内靖広】